

平成31年第1回女川町教育委員会会議録

- | | | |
|----|-------------|--|
| 1 | 招集月日 | 平成31年1月23日(水) |
| 2 | 招集場所 | 女川町立女川中学校 1階 図書室 |
| 3 | 出席委員等 | 1番 横井 一彦 委員
2番 平塚 征子 委員
3番 阿部 喜英 委員
4番 新福 悦郎 委員
村上 善司 教育長 |
| 4 | 欠席委員 | なし |
| 5 | 説明のため出席したもの | 教育総務課長 今村 等
教育政策監 春日川真寛
生涯学習課長 佐藤 毅 |
| 6 | 本委員会の書記 | 教育総務課 参事 伊藤富士子 |
| 7 | 開 会 | 午前9時00分 |
| 8 | 会期の決定 | 会期は本日1日限りといたします。 |
| 9 | 前回会議録の承認 | 教育長 初めに、前回の会議録の承認の件をお諮りいたします。すでに配布されておりますが委員の皆様方何かお気づきの点はありませんか。
無いようですので、承認とさせていただきます。 |
| 10 | 会議録署名委員の指名 | 教育長 1番 横井 一彦 委員
3番 阿部 喜英 委員 よろしく願いいたします。 |
| 11 | 報告事項 | 教育長 本日は、協議事項等がございませんので、報告事項に入らせていただきます。
はじめに、私からご報告いたします。
「教育長報告事項」と「別添資料」の2部を配付させていただいております。これに基づきまして報告をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。
それでは、1ページから始めさせていただきます。
お正月が来たかと思ったら、早いもので1月も残り少なくなっ
てまいりました。そして「平成」も残り4カ月とここに書きま
したが、本当に少なくなっ
てまいりました。
この「平成」、4月1日に新しい元号が発表されるようござい |

ますが、5月1日からいよいよスタートになります。

東日本大震災発生から8年が過ぎようとしておりますが、教育委員の皆様既にご承知のように、女川町復興計画はあと2カ月とちょっとで計画期間の終了を迎え、4月からは、いよいよ総合計画がスタートするところでございます。

2019年は、女川町にとりましても、当教育委員会にとりましても、次のステージの第一歩となる大事な1年になるのではないかと考えております。

そこに書いたように、町民の皆様の笑顔がいっぱいあふれるような1年になってほしいことを祈念するところでございます。

先週の17日に、風が強かったのですが、教育委員の皆様には安全祈願祭に足を運んでいただきまして、ありがとうございます。おかげさまで安全祈願祭は滞りなく終了することができ、翌日からいよいよ工事がスタートしているところでございます。こちらも予定どおり進んでおりまして、来年の7月15日、完成を目指していよいよこれから本格的な工事がスタートするところでございます。改めて工事の安全を祈っているところでございます。

そして、教育委員の皆様にとりまして、この1年が良い年となりますよう心から願っております。

2ページに入らせていただきます。

第3学期がスタートいたしました。小・中学校とも1月8日に始業式が行われたところでございます。始業式の欠席は、小学校3名、中学校3名でございました。なお、中学校の生徒の中には、遅れて登校した生徒、あるいは心のケアハウスに登校した生徒もおります。小学校は3名のほかに、3名が出席停止で休んでおりました。

心配されたインフルエンザでございますが、インフルエンザ警報が県内で発令されているところでございますが、今のところ、後で協議会でもお話をさせていただきますが、中学校で2年生が心配したのですが、昨日の校長・教頭会議の校長先生のお話ですと、ピークが過ぎたのではないかと考えております。

3年生の前期選抜試験がいよいよ31日に行われます。3年生、ベストな状態でこの受験に臨んでほしいなと願っているところでございます。

「別添資料」の1～2ページをご覧になっていただきたいと思っております。1ページは、新聞からのコピーで大変恐縮でございますが、こちらが分かりやすいと思って掲載させていただきます。

た。石巻地区の高等学校の前期選抜の出願の状況、それから2回目の志願者の予備調査が行われたところでございますが、このようになっているところでございます。

字が小さくて恐縮でございますが、右側に「前期選抜出願者」がございます。その辺のところをお目通しいただければと思いますが、石巻好文館が2倍を超えたところでございます。前期選抜でも募集定員に達しなかったところもございますが、石巻地区合計では1.29倍になっております。

なお、第2回の志願者予備調査では、石巻地区の合計が0.91倍ということで、定員を割っているという状況になっております。大体0.9倍から1倍の定員ぎりぎりのところでここ数年は推移しているところでございます。

2ページをお開きになっていただきたいと思います。女川中学校3年生の進路希望調査結果等についてでございます。

3年生、男子33名、女子14名の47名在籍しておりまして、全員が進学希望でございます。内訳は、公立高等学校進学希望者が45名、石巻地区以外の公立高等学校の希望者がそのうち2名。ですから石巻地区が43名希望していることとなります。それから、私立学校のみ進学希望者が2名となっております。

公立高等学校、私立高等学校等の希望者の内訳は次のとおりとなっております。先程申しました石巻地区以外の公立高等学校の現時点での希望者は、仙台三高に1名、宮城県工業高等学校情報技術科に1名となっております。石巻地区では、一番多い希望者が石巻商業高校の12名となっているところでございます。2名の私立高等学校につきましては、PL学園高等学校1名、それから飛鳥未来きずな高等学校、これは通信制でございますが1名。この2人が私立学校のみ希望でございます。仙台育英学園高校、大崎中央高等学校は、公立高等学校を希望する生徒の中で受験する生徒でございます。

日程等についてはこのようになっておりまして、PL学園高等学校の合格発表日が本日となっております。

3年生の状況はこのとおりでございます。何とか前期選抜試験、そして3月6日に行われます後期選抜試験、全員希望する高等学校に入れるよう頑張ってもらいたいものと願っております。

また、「教育長報告事項」2ページに戻らせていただきます。

女川町成人式がこの前執り行われたところでございます。ここに生涯学習課の佐藤課長がおりますが、後で詳細等についてはお話があるかと思いますが、ここにあるような状況でございま

す。今年の成人対象者というのは、町内、町外の方々も含めての数でございます。成人式の出席状況は、そこに記されておりますように合計で55名、該当者の44%の割合でございました。教育委員の皆様には、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございました。

お気づきになったと思いますが、今年は例年以上にマスコミ関係者が多かったということ。これは私から説明するまでもなく、ちょうど「いのちの石碑」に取り組んだ学年でございまして、「いのちの石碑」世代とは誰も呼んでいないのですが、そのような関係でマスコミ関係者が多く集まったということでございます。今年も本町の成人式は厳粛で、立派な式でございました。生涯学習課の担当者のいろいろなご指導もあったのでございますが、成人式実行委員会の皆様のこれまでの努力に改めて敬意を表する次第でございます。そして、成人された皆様の今後の活躍を心から期待申し上げているところでございます。

3ページに入らせていただきます。

小・中学校関係の行事等は、ここに示されているとおりでございます。冬休みも挟んででございますが、小学校、中学校ともいろいろな学習、活動がありました。

小学校では、3年生で今、福祉関係の仕事、平塚征子委員にもいろいろお世話になっているのですが、点字勉強会、盲導犬の福祉学習などが行われたところでございます。それから第4学年では、万石浦探索。海に慣れ親しむということで、その取り組みが行われたところでございます。

在庁時間記録一覧表については、「別添資料」3ページでございますが、小学校につきましては、12月は80時間を超えている先生はおりません。大変小さな字で恐縮でございますが、後でご覧になっていただければと思います。

中学校は、先程もお話をしましたように、受験モード一色でございまして、それに引き付けられるように1年生、2年生も勉強等で今頑張っているところでございます。

心配されたインフルエンザの流行等については、先程もお話をさせていただきましたが、一時2年生で流行の兆しがあったのですが、繰り返すようですが、昨日の校長・教頭会議で校長先生からピークは過ぎたのではないかというお話をいただいております。ただ、3年生等にまだ流行の兆しがないので、何とかこのままでいってほしいと願っているところでございます。

「別添資料」の4ページが12月の在庁時間の記録でございます。

中学校はやはり受験関係、あるいは、まだ部活等もありまして80 時間を超えている先生方もおりますが、大変忙しい時期と比べると、随分落ち着いてきているのかなと思っております。

5 ページは「みやぎの海の子」作文で、2 年生の大江悠也君、生徒会長ですが、知事賞を受けました。大変すばらしい作文だったようでございます。委員の皆様はご存じのように、大江君のお父さんは指ヶ浜のホタテ漁師で、今はいろいろご苦労されておりますが、その後ろ姿等を作文に書いたのではないかと思います。本当にうれしい表彰でございました。

続きまして、6 ページに管内の書きぞめ展の結果が出ております。今年、中学校から硬筆の部3 名、毛筆の部2 名が特選になりまして、宮城県展に出品するようでございます。高橋小紅さんと須田結希乃さんの二人は、どちらも硬筆、毛筆の部での特選、1 年生の木村奏子さんが硬筆の部、2 年生の秋山慎之介君が毛筆の部で県の方に出品されるようでございます。おめでとうございましたと心から言いたいです。毛筆や硬筆で頑張る生徒になってほしいものだと願っております。

7 ページは、2 回目を取ったようでございますが、部活動のアンケート結果を載せております。来年度の合同チームなどの関係等もありまして、参考までに、9 月時点での各部の部活動アンケート調査結果でございます。2 回目をおとといに実施したと思いますが、その結果はまた後でお知らせ申し上げます。このような結果になっております。

8 ページは、1 月1 日現在の小・中学校の児童生徒数でございますが先月から変わっておりません。

「教育長報告事項」の4 ページに入らせていただきます。

議会関係では、1 月15 日に復興まちづくり特別委員会が開催されまして、女川小・中学校跡地土地利用について、これから建設される予定である女川町立保育所の整備、女川消防署建設計画概要、そして最後に残っている観光交流エリアについての話し合いが行われたところでございます。

それから1 月17 日に教育長会議がありましたが、大変私事で、資料だけ受け取ってきたところでございます。

5 ページに入らせていただきます。

1 月11 日に第3 回女川の教育を考える会が開催されました。「別添資料」の9～10 ページに「本日の流れ」と特別委員の名簿を載せております。今回は時間が少なかったのですが、特別委員部会でもいつも時間不足になって委員の皆さん方に大変ご無礼

を申し上げているのですが、次年度に向けて、あるいは小・中学校の現状等について大変貴重なご意見を頂戴したところでございます。先生方の部会では次年度の小中一貫教育に向けての話し合い等が活発に行われたところでございます。

6番の第17回女川町小中向連絡協議会が1月10日に開催されました。「別添資料」では11～12ページでございます。

12ページは向学館の資料でございますが、小学校・中学校・向学館の協働についての提案があったところでございます。小学校・中学校・向学館の連携につきましては、次年度に向けてもう一回話し合いをするとともに、向学館の今後のあり方についても、3月下旬になるかと思うのですが、話し合いを行う予定でございます。

その前に、私がリーダーシップをとりまして、向学館の方、あるいは学校関係者と話をし、連携のあり方と課題等も含めて取り上げ、今後のあり方を示していきたいと考えているところでございます。

7番に入りますが、校長・教頭会議が昨日行われました。「別添資料」13ページに「指示事項等」ということで、ありきたりのことではございますが、このようなこととお話させていただきました。

8番、生涯学習関係につきましては、先程成人式のところでお話をしましたので省略させていただきますが、後で佐藤生涯学習課長から報告がございます。

その他に入らせていただきます。

休み明けということで、ここにあるようなことがありました。

1月17日、繰り返すようですが、女川小・中学校建設工事安全祈願祭が滞りなく終了したところでございます。いよいよスタートでございます。私どもももう一回原点に戻ったつもりで頑張っていきたいと思っているところでございます。

14日は、今問題となっている、問題と言ったら語弊がありますが、学校現場では授業時数、特に中学校で授業時数確保が大変ということで、県内でも夏休みを短くしたり土曜日に授業をするという取り組みを行っておりますが、本町では、中学校も、通学バスのおかげと言ったら言い方は悪いのですが、時間割を余裕をもって取っているのも、何とか夏休みを短くしたりしないで、ぎりぎりのところで10連休は休めるし、授業時数もぎりぎりのところでやっていけるということで、特段その対策等については現時点では考えておりません。

14 ページは、その法律の概要でございます。このようになって
いるところでございます。

15 ページは総務課にいる政策調整監が作った資料で、女川町ま
ちづくり進捗調整会議をこれまでずっと定期的に行っているの
ですが、「現在の状況」と「今後の対策」と「具体的な手法」と
いうことでコンパクトにまとめていただいた資料を参考までに
載せております。後でお目通しいただければと思います。
最後になります。

「おわりに」ということで、さすがに大寒になりますと寒さも
厳しくなっているようでございます。昨日、色麻町の教育長か
ら電話があつて「今、色麻町はものすごい吹雪なんだけど、女
川は雪降っているんですか」、「うちの方は春だよ」と言ったら
「随分違うね」と言われて、そのくらいあちらは大変なようで
ございます。また小野田の奥の方の教え子が電話を寄こして、
雪かきが本当に大変だということをお話しておりました。同じ宮
城県でもこんなに違うのかなと思っております。暦どおりとはい
え、一番寒い時期でございます。どうぞ教育委員の皆様方、
ご自愛の程をと思っております。

また、1月17日、阪神・淡路大震災から24年ということで書
かせていただきました。阪神・淡路大震災のことを忘れるな、
などと言いながら、四半世紀経っている中で、何年経ったのか
と、本当にはっとしたところでございます。あの時言われた「忘
れない 風化させない 語り継ぐ」ということをもう一回肝に
銘じたいと思つて、ここに書かせていただきました。

それから今日、第1回目ということですが、本年もどうぞよろ
しくお願い申し上げますということで、一言書かせていただき
ました。

私からの報告は、以上でございます。

続きまして、教育総務課長から報告させます。

教育総務課長

教育総務課に係ります報告をさせていただきます。教育長の報
告と重複する部分がございますので、よろしくお願ひいたしま
す。

それから、実施済みの事項で1点抜けておりましたので、後程
お話をさせていただきたいと思つています。

まず、(1)平成31年「新生 女川の未来を語る会」、1月8日
の開催。委員の皆様方には、ご出席いただきまして、誠にあり
がとうございました。

次に、(2)といたしまして、第3回女川の教育を考える会を1

月 11 日に開催してございます。

(3)議会の復興まちづくり特別委員会が1月15日。案件といたしましては、「小中学校等旧公共施設の活用計画について」、あと数点それに絡むものの報告をさせていただきます。

(4)といたしまして、女川小・中学校建設工事安全祈願祭、1月17日。こちらにも委員さん方には出席をいただきまして、ありがとうございました。

もう1点、先程教育長からも報告がございましたが、1月10日(木)に第17回女川小中向連絡協議会が開催されてございます。これは3月中にもう一度、次年度に向けてという話し合いを行う予定としてございます。

次に、実施予定でございます。

(1)小中一貫教育等視察研修。本日23日、名取市立閑上小中学校を視察することとして、出発いたしました。参加者は、小学校から4名、中学校から4名、教育総務課から2名、計10名が視察に向かっています。

(2)といたしまして、平成30年度の「立志の会」、2月1日(金)1時30分から女川中学校の体育館で開催される予定ですので、委員さん方の出席をよろしくお願ひしたいと思います。

次に、大きな2番目といたしまして、事故報告でございます。女川中学校生徒に関する事故(けが)報告ということで、3年生の生徒が1月18日、体育の授業の準備のため係の生徒に先生がギャラリーの暗幕を閉めるように指示したところ、その生徒と一緒に付いていったようでございます。その際に、ステージ脇の梯子を使ってステージ上部の物置部分に登り、ギャラリーへ移動しようとしたところ、室内が暗かったため、足場のない部分があることに気付かず歩いて行って、ステージ脇の階段部分に転落し左下半身を強打。病院で受診したところ「左足踵骨折(全治4~6週間)」という診断を受けたようでございます。現在は、ギブスをして松葉杖で登校しているという報告をいただいております。

次に、3番目、その他といたしまして、まず学校支援でございます。NPO法人二見浦・濱日館の会様から、女川小学校に対しまして、図書購入支援といたしまして「11,158円」の寄贈をいただいております。

次に、一般事項でございます。

まず、1)といたしまして、女川町奨学生選考(第1回)状況につきまして、大学、3人の方の希望がございました。そのうち

1名は大学院ということで、これは継続の申し込みとなります。
2回目といたしまして、2月1日から2月28日までまた応募を行うこととしてございます。

2ページ目をお開き願います。

2019年度被災児童生徒就学援助事業補助対象限度額の見直しについてということで、学用品等の年間の一人当たりの補助対限度額の変更案でございます。この中の上から3番目、新入学児童・生徒学用品が大体1万円程度増額になるということで、本町といたしましては、2市1町で足並みを揃える形で今まで実施してきたわけですが、生徒のご父兄の負担軽減ということもございまして、本町といたしましては、こちらを実施したいというような形で今調整をさせていただいております。

以上でございます。

教育長 続きまして、生涯学習課長から報告させます。

生涯学習課長

生涯学習課に関する事業実施につきまして、「1月実施事業2月実施予定事業一覧表」に基づき説明をさせていただきます。

先程教育長からも話がありました1月8日、女川の未来を語る会、華夕美で開催されております。当日は申込み者200人のうち186人が出席しました。

次に、13日ですが、成人式。これも教育長からお話がありましたが、当日は55名の参加でしたが、対象者126名のうち内訳としましては、女川中学校卒業者が68人です。女川中学校を卒業した生徒で出席した割合は、8割の出席がございました。その辺もお含みおき願えればと思っております。

それから同じ日の午前中、一万人寒稽古ということで、これは宮城県内で武道関係者1万人集まって寒稽古をしましょうという趣旨で毎年やっているものがございますが、柔道と合気道の二つの団体から、当日は18人で寒稽古をしたということでございます。

19日（土）ブックハンティングとありますが、これは図書の子ども司書講座を受けている、もしくは受けて卒業した子どもたちに、実際本屋に行って自分たちの興味のある本を選書してもらいながら、図書室に本を入れるという事業でございますが、これを19日（土）に行っております。

それから月末の27日（日）には体協・スポ少の合同表彰式がまちなか交流館で開催されますので、出席される委員さん方、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、2月でございますが、2月6日にすばらしいおながわを

創る協議会の文化講演会ということで、平成30年の役員会で平成31年の講演会の内容をお話して、新春なので、1年の始まりでみんなで笑って過ごせたらいいのではないかとということもあって、一度こけら落としと呼びました鳴瀬出身のニードルというお笑いの漫才コンビと、仙台寄席から白津社長に来てもらって少しお話をいただくという内容で開催することにしております。

16日(土)、町民音楽会。町民音楽会となっているのですが、こけら落としとすれば10月から12月まで3回、生涯学習センターのこけら落としが終わりました。これは、そのこけら落としとは別に、主催は町ではなくて、事業者で主催をして、会場を提供するという形にしておりますが、都合上町民音楽会ということで、青少年編という名前をつけました。

今テレビのコマーシャルで、ボウリングなどをやっている中で女子の6人組が出ているラウンドワンのコマーシャルを時々やっているのですが、そのBishというグループが女川に来て、生涯学習センターでコンサートをやります。これは、当日は400人しか入れない会場なので、前売り段階ですぐ売り切れたようでございます。400人のうちの9割5分くらいの人たちは町外の人たちだと思いますが、そういう人たちが集るようなコンサートが2月16日に開催されるという内容となっております。

それから24日(日)に栃木県塩谷町からジュニアリーダーが来て、毎年これまで塩谷町と交流事業ということで塩谷町に行ってお世話になっているということでずっと震災後やってきましたが、平成31年度は、ある程度環境も整ったということで、塩谷町から女川町に来てもらって交流会をするという計画で今進めております。その打ち合わせ等に24日に塩谷町から来て交流会をするという内容となっております。

今報告させていただきました内容につきましては、協議会で詳しい内容をもう一度報告させていただきたいと思っておりますので、ご了承願いたいと思っております。以上でございます。

教育長 生涯学習関係は協議会でも詳細がありますので、よろしく願いいたします。

成人式は私の説明不足で、44%ということが何か出席率が少ないようにとられたかもしれませんが、大変ご無礼を申し上げます。

報告は以上でございます。生涯学習課長からもあったのですが、協議会の場でも構いませんが、何かご質問ご意見等があったら

お願い申し上げます。

なお、生涯学習関係で、私から言うのもおこがましいのですが、例えば1月21日学校講師派遣（女川小3年）、あるいは2月1日に学校講師派遣（女川小1年）というのをやっているのですが、これは非常に地道な取り組みなのですが、協働教育という大きな枠の中で取り組んでおり、これが実は県から高く評価されまして、この前、水野派遣社教主事が石巻地区の社会教育研修会で3年を終えたということで発表されたのですが、その前に県の社会教育専門監から直接電話をいただいたりして、大変評価をされているところでございます。

これをもっともっと、マスコミに取り上げればいいというようなものではないのですが、よく教育委員の皆様から言われる情報発信が少し不足しているなということで、申し訳なかったと思っています。

実はほかではなかなかない取り組みで、水野派遣社教主事がやるようなことを学校の先生がやっているということが多くて、学校が大変だ、協働教育は大変だと言っている中で、本町は地域の皆様方のご理解もあって、生涯学習課長のいろいろなご指導ももちろんある中で、非常に評価を得ております。

水野派遣社教主事は今年で派遣終了でございますが、何とかこの事業をしっかりと定着させていきたいと思っております。そういう形を学校評議員一つにしても、そういうことを自然にやっていて、こういうことがコミュニティスクールなのだよという形にもっていきたいと考えているところでございます。地域の方にも小学校の農園づくりなどにも来ていただいておりますし、読み聞かせにも来ておりますし、こういう学校講師派遣の事業の中でいろいろやっておりまして、遠藤進学校評議員からも非常にお褒めの言葉を頂戴したところでございます。

私の方でもう少し情報発信をすべきだったと非常に反省をしたところでございますが、大変うれしいお話がありましたことを報告させていただきたいと思っております。

Bish というのは私も課長に聞いて初めて分かったのですが、あっという間にチケットがなくなると。本当ですかと言っていたのですが、やはり若者には絶大で、何よりも町長が一番詳しいのでお聞きしたら、まだマイナーといいますか、全然名前が知れ渡らない時に女川町が呼んでくれたということで、今回もすぐ女川町にはOK返事で来るということでした。

それでは、その他に入らせてもらってよろしいですか。

12 その他

(「はい」の声あり)

教育長

次に、「その他」に入ります。

何かありませんか。

教育総務課長

それでは私から、毎回報告をさせていただいております、女子小学生に対する痴漢事案について報告をさせていただきたいと思っております。

1月16日付けで石巻警察署から、前日の1月15日(火)午後2時30分頃から午後3時30分頃まで、石巻市小船越地内の路上において、自転車を押しながら徒歩で下校途中の女子小学生に、軽トラックを降りてきた男が「気をつけて帰ってね」と言いながら左足を触るといふ事案が発生いたしました。

なお、男性の特徴といたしまして、年齢が40～45歳、身長が165～170cm、中肉、紺色キャップ帽、上下紺色つなぎ、白い軽トラックに乗っていたという報告がされてございます。

そのほか、石巻管内、特に東松島市内でございまして。年明けから1月10日までに、女子小学生に対する付きまとい案件と女子高校生に対する声かけ案件、この2件の報告がされてございます。

なお、石巻警察署からはその都度2市1町の教育委員会に対し、各学校へ、登下校時の行動などに関する注意喚起や、被害に遭ったり事件を目撃した際はすぐに110番通報するよう周知方について依頼がされており、本町では連絡を受け、ただちに小・中学校に情報提供をするとともに、注意喚起等について指示をしております。

以上でございます。

教育長

毎回教育総務課長が必ず報告しなければならないような状況になってきておりまして、教育長部会でも心を痛めているところでございます。

小船越というのは、上品の郷近辺が小船越ということで、学校は大谷地小学校、河北中学校学区でございまして。

絶えないというか、課長からもありましたが、東松島市では毎月のようにあるようでございまして、工藤教育長はマンネリ化というか、また、またというような感じになってきているのが非常に怖いというようなことを話されておりました。

いずれにいたしましても、本町でいつ起きてもおかしくないような状況でございまして、校長・教頭会議では必ず綱紀粛正という中でお話をさせていただいているところでございます。

ほかにありませんでしょうか。

(発言なし)

教育長 「その他」は、以上でございます。

それでは、来月の日程を決めさせていただきたいと思います。

〔2月14日(木)9時ということで調整〕

教育長 14日木曜日ということで組ませていただきます。

以上で、第1回女川町教育委員会会議を終了させていただきます。

13 閉 会 午前9時42分

14 この会議録の作成者は、次のとおりであります。

教育総務課 参事 伊藤富士子

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成31年2月14日

会議録署名委員

1 番委員

3 番委員